

幼稚園だより

6 月号

令和元年 5月31日

荒川区立花の木幼稚園

園長 岩崎 昇

感謝する心

園長 岩崎 昇

猛暑の日もある中で、子どもたちは毎日元気に過ごしています。親子遠足では、お忙しい中子どもたちのためにご参加いただきまして、ありがとうございました。オリエンテーリングでは、おうちの方々と一緒でしたので、子どもたちはとても張り切っていた様子でした。大変暑い一日となり、急遽終了時間を早めさせていただきましたが、ご理解をいただき、ありがとうございました。

毎日元気に登園する子どもたち。登園後の子どもたちは、思い思いに遊び初めます。電車を走らせるひよこ組の男の子。ドレスを着飾るこあら組の女の子。年長いるか組では、文字積み木で遊んでいる男の子たちがいました。知っている言葉をつなぎ合わせ、「できたよ」と教えてくれました。園児として2歳の違いですが、遊び方の違いに驚かされます。

さて、先月5月には母の日があり、一人一人が思い思いのプレゼントを作り、お渡しできたかと思います。6月には父の日のプレゼント製作がありますので、ご期待下さい。ところで、父母の恩は山より高く、海よりも深いと言われます。恩を感じることでできる人は、人の痛みをわかり、喜びを共にできると考えます。何よりも子どもたちには、日頃から素直に「ありがとう」のいえる子になってもらいたい、そう願っています。人に感謝できる心をもてる子は、お友だちを大切にできる子、さらに自分を大切にできる子であろうと思います。そして、豊かな心の育成への第一歩です。また、人とのコミュニケーションをとれる子であり、その中で社会性も身についてくるのだと考えます。そのためにも、教職員が率先して感謝できる心をもって子どもたちに接していきたいと思います。

今月の保育のねらい

《3歳児：ひよこ組》

- ・簡単な身の回りの始末を自分でしようとする。
- ・教師や友達と一緒に、好きな遊びを十分に楽しむ。
- ・水や泥の感触に親しみ、心地よさを知る。

《4歳児：こあら組》

- ・友達との関わりを楽しみながら、いろいろなことに興味をもって遊ぶ。
- ・水遊びやプール遊びに参加し、水に親しんだり、開放感を味わったりする。

《5歳児：いるか組》

- ・思ったことや考えたことを出し合いながら、友達との遊びを進める楽しさを感じる。
- ・梅雨期の自然や植物の生長に興味や関心をもって関わる。